

栄養教職員部総会・学習会



越桐新部長さんのあいさつ

6月25日（木）2015年度栄養教職員部総会・学習会が、盛大に開催されました。総会では、松井副執行委員長、富坂由美子前部長の挨拶、山本正雄県議会議員、玉村正人福井市議会議員の祝辞をうけました。その後、新旧ブロック長の交代が行われ、越桐由紀子新部長が抱負を語りました。議案審議では、

- ・食教育の充実を進める運動
- ・勤務条件の改善を求める運動
- ・組織を確立し強化する運動

について原案通り可決されました。

学習会では「農と食の環境フォーラム」代表・学校給食ニュース編集責任者である牧下圭貴さんに「明日の学校給食を作るために」というテーマでご講演をいただきました。市町雇用の正規調理員さんが減少し、調理場の民間委託が進んでいる現状や、民間委託化による課題、調布市での事故以後の国内での食物アレルギー対応の事例、酵母エキスによるアレルギー事例などを紹介されながら「学校給食は生きた教材」であり「食育は安全と信頼が前提」であることを熱心に講義されました。玉村議員さんから福井市内小学校での民間委託化の



岡崎議長さん
進行お疲れさまでした。



越桐由紀子 部長（坂井）
田中 範子 副部長（福井）
宮澤美智子 副部長（丹南）
石田 真弓 ブロック長
（奥越吉田）
宮川友樹子 ブロック長
（嶺南）
のみなさんにはお世話になります。

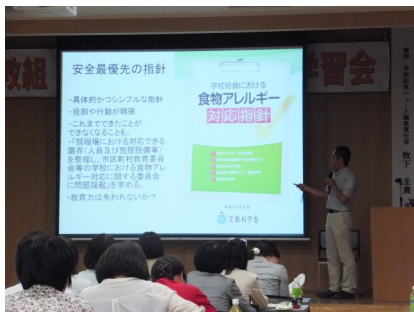


富坂前部長、浅川前副部長、谷口前副部長、大久保前ブロック長、菅原前ブロック長のみなさんにはお世話になりました。



講師の牧下さんは、全国の給食に関する動きに詳しく、民間委託や食物アレルギーの問題を、わかりやすく丁寧に講演くださいました。

動きがあることについて紹介されていたこともあり、出席者のみなさんは熱心にメモをとったり、講演後質問をしたりするなど、意欲的にとりくみ、たいへん有意義な学習会となりました。



学習会の感想

- ・福井市では委託業務が始まるとの事で、委託を見据えた給食の課題を考えていかなくてはいけないと感じました。
- ・勤務先(町)でも民間委託の話が出ているので、今日の話参考に使いたと思います。
- ・アレルギー事故は、二重・三重と人の目で見て、誤食がないようにしていきたい。

栄養教職員部では、学校給食を「生きた教材」として充実させ、「生きる力」の基盤である「食教育」を、学校全体で推進することを運動の柱にすえ、食教育の充実、勤務条件の改善、組織強化等の運動に取り組みます。